

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況【資料1】

- ・全学的な組織として、全学教育推進機構のもとに、学部FD委員会（平成28年度までは、学部FD部会）を設置している。（学部委員1名）
- ・全学的な組織として、自己点検評価委員会のもとに、自己点検評価小委員会を設置している。（構成員3名以上）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・自己点検評価小委員会は、2か月に1回以上開催。
- ・学部FD委員会は、今後原則毎月1回開催。

c 委員会の審議事項等

- ・自己点検評価小委員会
グローバル・コミュニケーション学部が所管する事項について点検・評価を主体的、かつ、具体的に実施するための事項。
- ・学部FD委員会
教育の質向上及び教育の改善を図るために行う活動を支援するための事項。

② 実施状況

a 実施内容

- ・自己点検評価小委員会「中間報告書」「年次達成度報告書」
- ・学部FD委員会「FDセミナー、FDワークショップ企画」「授業改善アンケート」「学生とFD部会委員との懇談会」「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」

b 実施方法

- ・グローバル・コミュニケーション学部の自己点検評価小委員会を、神戸学院大学自己点検評価規則細則に従い開催した。
- ・学部FD部会主催の「FDセミナー、FDワークショップ」「授業改善アンケート」「学生とFD部会委員との懇談会」については、全学的に実施のため、グローバル・コミュニケーション学部においても学部FD部会の指示を得て実施した。
「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」については、グローバル・コミュニケーション学部において学部FD活動について年間計画を立て、有効に活用できるように計画した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・グローバル・コミュニケーション学部の自己点検評価小委員会の本格的な取り組みが開始して3年が経過したが、今後も認証評価機関が定めた大学評価基準に基づいて、小委員会を開催していく。

・「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」については次の7件を実施した。
【7月22日】英語コース非常勤講師が英語専攻演習を授業見学し、授業法の改善・教育活動の向上に努めたほか、FD講演会「これからの5-10年間のグローバル人材育成/英語教育の方向について」を実施し、終了後、FDの成果をいかに授業実践に生かすかを英語コース教員ミーティングで話し合った。
【8月24日】ジェネリックスキル・トレーニング担当者ミーティングを行い、クラスで違いが出ないように評価方法や授業内容の確認、授業実施に必要な手続きの確認などを新任担当教員と行った。
【8月28日】日本語コース講師会を行い、コース科目「基本日本語」について、授業内容、成績評価、取り組み内容の報告や、後期授業の方針や内容、設備などについて確認し、教員間で情報共有と連携強化を図った。
【1月20日】「英語会話」担当者ミーティングを行い、次年度の教育活動向上のため、学生の授業に対する要望やシラバスの反省と改善、成績評価基準、教室環境、授業進行などを話し合った。
【2月20日】教員の言語テストに関する知識向上のため、テスト研究の第一人者である小泉利恵先生を講師に招いて、学術講演会「英語テストの作り方と検証方法」を行った。参加者は本学教員のみならず近隣の大学や高校教員も多数参加した。
【3月1日】日本語コース講師会を行い、コース科目「基本日本語」について、授業内容、成績評価、取り組み内容の報告や、2018年度授業の方針や内容、設備などについて確認し、教員間で情報共有と連携強化を図った。
【3月26日】中国語コースの教員が、中国語担当非常勤・共通教育センター中国語担当教員と今年度の授業の振り返りと課題を話し合い、次年度の授業に向けての改善策や授業法、授業内容について意見を交わし、情報共有連携強化を図った。

・グローバル・コミュニケーション学部において前期末と後期末に「授業改善アンケート」を実施した。

・全学教育推進機構主催のFD活動（SD活動を含む）については次の2件に教員が参加した。
【9月15日】FDワークショップ「学修成果可視化のためのカリキュラム評価について」教員3人参加
【2月26日】神戸ポートアイランド4大学合同FD講演会「ディープ・アクティブラーニング-深い学びの実践-」教員2人、実習助手1人参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・自己点検評価やFD活動、授業改善アンケートを実施し、これら内容の報告や情報共有が授業改善のための取り組みにつながっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業改善アンケートは、前期末と後期末に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・教育開発センターの方針に従い、Webで履修学生に対して公開した。
アンケート実施科目において、教員は学生からの質問にはWeb上で回答し、学生はその閲覧が可能である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(資料2のとおり)

② 自己点検・評価報告書

【全学】

教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することを学則、大学院学則に規定している。

本学の自己点検・評価をつかさどる組織として、自己点検・評価に関する基本的な事項を審議し決定する自己点検評価委員会を設け、そのもとに各組織にかかる事項の自己点検・評価を実施し、当該報告書を作成するために、30以上の自己点検評価小委員会を置いている。さらに、自己点検・評価の内容等を第三者的な立場で検証するため、学外の学識経験者を構成員に含んだ自己点検評価結果検証委員会を設置するなど、体制を充実させ、積極的に自己点検・評価に取り組んでいる。

具体的には、平成24年、法人創立100周年を機に平成25年度から5年間に実施する施策をまとめた「第1次中期行動計画(2013-2017)」の年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うことを自己点検評価委員会で決定し、自己点検・評価を実施している。

また、昨年度は「第1次中期行動計画(2013-2017)」の最終年度であったことから、「第2次中期行動計画(2018-2022)」を策定し、「第1次中期行動計画(2013-2017)」と同様に、年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うこととしている。

なお、平成25年度以降、自己点検・評価結果については、翌年度に本学のホームページ上で公表を行っており、平成29年度の自己点検・評価の結果の公表についても、次項のとおり公表を行う予定である。

【グローバル・コミュニケーション学部】

グローバル・コミュニケーション学部の所管する事項についての具体的な施策を、「中期行動計画」として定めた。自己点検評価委員会もとのグローバル・コミュニケーション学部自己点検評価小委員会にて、その実施状況等に関する自己点検・評価を行い、「年次達成度報告書」としてまとめた。

a 公表(予定)時期

【全学】

平成29年度の「年次達成度報告書」は、自己点検評価結果検証委員会において検証され、検証結果に基づき各自己点検評価小委員会にて加筆・修正するなど学内手続きを経て、平成30年度内に公表する。

b 公表方法

【全学】

大学ホームページ上で公表する(平成31年3月末を予定)。

③ 認証評価を受ける計画

【全学】

公益財団法人大学基準協会による大学認証評価を平成29年度に受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2025(平成37)年3月31日までとする。」との結果を受けた。

今回は、平成36年度に受審することを予定している。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 7月 1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。